

JOCS<sup>MTC</sup>

バングラデシュ派遣医師

# 宮川眞一ワーカー報告会 資料

(社) 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)

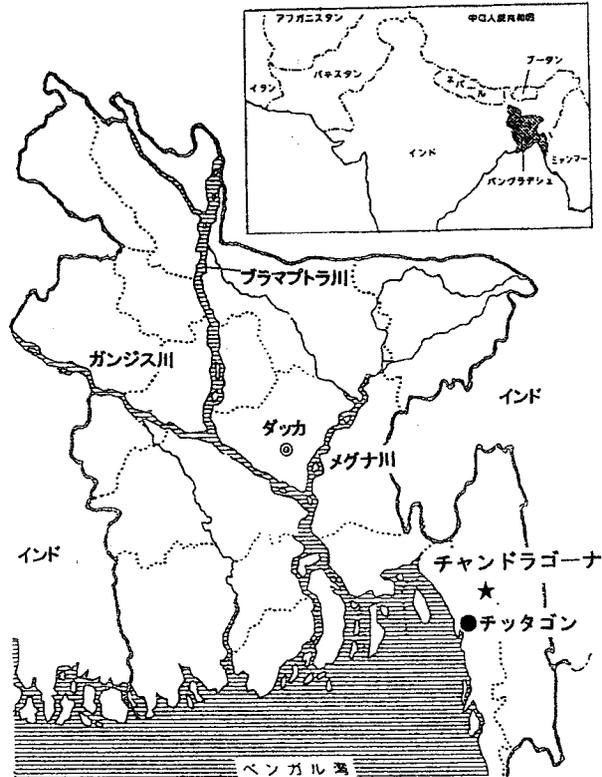


その肥沃な国土からしばしば「黄金の国ベンガル」と形容されるバングラデシュ。古くから港町として栄えたこの国第2の都市チッタゴンから西へ車で約1時間の距離にある小さな町に、宮川ワーカー（医師）が家族を伴って赴任したチャンドラゴナ・キリスト教病院があります。

この報告会では、3年にわたる現地での活動の様子を紹介いたします。

## ☆バングラデシュの紹介

**歴史**: 古くはベンガル人による王国も存在したが、長年インド・ムガル帝国に支配され、19世紀後半からはイギリスの植民地に。1947年、英領インドはヒन्दゥー教国のインドとイスラム教国のパキスタンにわかれて独立。ベンガル地方（現在のバングラデシュ）はパキスタンの一部、東パキスタンとなった。ところが、東パキスタンは西パキスタンとは地理的に離れていた上、文化や言語が異なり、だいに西側の支配体制が強まった。1950年代に始まった民族運動を経て、1971年にバングラデシュ人民共和国として独立を達成した。



**自然**: ベンガル湾の最奥部に位置し、インドとミャンマーに挟まれる。国土の大部分はガンジス川やブラマプトラ川、メグナ川といった大河の三角州にあたる海拔 10 ㍎以下の低地である。毎年繰り返される洪水は土壌を肥沃にし、米・ジュート・茶などの主要作物の生育を促進する他、川や池での養殖や漁業にとっても欠かせない「恵みの水」となっているが、時に大きな被害を引き起こしている。

## 宮川眞一（みやがわ・しんいち）ワーカーのプロフィール

愛媛県宇和島市生まれ。同郷の故岩村昇氏（元 JOCS ネパール派遣ワーカー）に影響を受け、海外医療協力を志す。神学部を経て医学部へ進学、心療内科医に。

2005年9月、JOCSワーカーとしてバングラデシュへ赴任。語学等の研修を終えて2006年5月チャンドラゴナ・キリスト教病院で活動開始。3年にわたる現地での活動を終え、2008年9月帰国。1月末まで全国にて報告会を開催中。

**経済**：米・シュート・茶を中心とする農業国。全雇用の約6割が農業関連に従事している。約1.3兆円ある輸出の4分の3を縫製品が占め、続いて冷凍エビやシュート、皮革が代表的な輸出品。主な輸出先はアメリカ、ドイツ、イギリス等の欧米諸国(日本13位)。近年は首都ダッカを中心に経済発展が顕著な一方、国内の貧富の差は拡大。通貨はタカ(1タカ=約1.7円)。

**教育**：義務教育は6歳より5年間。小学校は1年生～5年生、中学校は6年生から～10年生。10年生終了後、卒業資格試験を受け、合格者はさらに2年制の高校へ進学できる。小学校への就学率は9割を超えるが、中学校へ進むのは全体の5割弱に留まる。近年、識字率は向上しているが、依然として男女間の格差(男54%・女41%)は改善されていない。

### ☆バングラデシュの国歌

「アマール・シヨナル・バングラ (我が黄金のベンガル)」

作：タゴール (ベンガル人の大詩人でノーベル文学賞受賞\*)

(冒頭の1節)

♪ わたしの黄金のベンガルよ、  
わたしはあなたが好きで好きでたまりません。  
あなたの空、あなたの風は、  
わたしの胸の中にある笛をいつも響かせててくれます。 ♪

(\*この他に、2006年のノーベル平和賞は、バングラデシュの農村で貧困層にマイクロクレジット[無担保少額融資]を続けてきたグラミン銀行と、同銀行を設立したムハマド・ユヌスが受賞した。)

### ☆日本と比べてみると...

	バングラデシュ	日本
・人口	約1億5千6百万人	約1億2千7百万人
・面積	約14.4万km <sup>2</sup> (日本の約4割)	約37.8万km <sup>2</sup>
・人口密度	1,083人/km <sup>2</sup>	336人/km <sup>2</sup>
・人口増加率	2%(1990-2006)	0.2%(1990-2006)
・宗教	イスラム教(89.7%)、ヒンズー教(9.2%) 仏教(0.7%)、キリスト教(0.3%)	主に仏教、神道 キリスト教(1%未満)
・言語	ベンガル語	日本語
・出世時の平均余命	63歳	82歳
・乳児(1歳未満)死亡率	52(千人あたり)	3(千人あたり)
・5歳未満児死亡率	69(千人あたり)	4(千人あたり)
・妊産婦死亡率(調整値)	570(出生10万件あたり)	6(出生10万件あたり)
・識字率	48%	99%以上
・国民総所得/人	480ドル(約5万円)	38,410ドル(約400万円)
・1日1米ドル以下で暮らす人の比率	41%	データなし

(出典：「世界子供白書2008」他)

## ☆バングラデシュの心象風景

### <気候>

常夏の国と思われがちであるが亜熱帯モンスーン気候に属し11月から2月までは過ごしやすい乾季である。12月と1月の朝晩はけっこう冷え込む。そしてこの時期、チャンドラゴーナは毎朝深い霧につつまれる。バングラデシュの人たちは寒い時には厚着をして頬かむりまでしている。そのような時でも足元ははだしにサンダルをつっかけているだけなのは日本人の目から見るとユーモラスに感じる。頭寒足熱という概念は日本人だけのものなのだろうか。4~5月は最も暑い。5月頃から雨季が始まる。雨季に入ると暑さは幾分ゆるむがとても多湿となる。日本ではかびないようなもの(本や衣類)までいろいろカビがはえる。バングラデシュの雨季は日本の梅雨とは違い、短時間(30分か1時間くらい)強い雨が降り、雨がやむとからっと晴れることも多い。毎年サイクロンにより大きな被害が出ている。



### <人間>

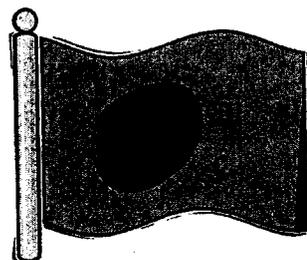
日本人に比べ一般的に押しが強く自己主張が強い。外国人はじろじろと見つめられることが多いが、これは敵意のためではなく好奇心の眼差しである。またベンガル人は話し好きでおしゃべりである。もてなすのが好きで突然の訪問でもとても歓迎される。日本が最大の援助国のためか対日感情は一般的に非常に良い。

### <言葉>

バングラデシュで話されているベンガル語はコルカタがあるインドの西ベンガル州でも話されている。話者人口は1億7千万人を超えていると言われている。言語学的には印欧語系に属し日本語とはまったく別系統の言語ではあるが、言葉の順番が日本語と似ており(主語が最初に来て動詞は文章の最後に置かれる、英語の前置詞はベンガル語や日本語では後置詞となる等)、英語や中国語のような強いイントネーションもないので、日本人には習得しやすい外国語である。文字はベンガル語特有の表音文字を使う。母音をあいうえおと並べるのは日本語と同じである(この分類法はサンスクリット語からきている)。チャンドラゴーナ近辺で話されているベンガル語には強いなまりがある。

### <食事>

朝は小麦粉を焼いたルティ、ポロタと呼ばれるパンに似た食べ物を食べる。ベンガル語で朝食を意味するナスタという言葉は軽食という意味でも使われる。昼と夜はトルカリと呼ばれるカレーとパサパサのご飯を食べる。食事は手で食べる。ベンガル語でも日本語と同じように「ご飯」という単語は(炊いた)お米と食事の両方の意味を持つ。夕方スナックやおやつを食べ、夕食は9時か10時過ぎの遅い時間に食べるのが一般的。



バングラデシュの国旗(緑地に赤い丸)



## ☆チャンドラゴーナ・キリスト教病院とは？

# খ্রীষ্টিয়ান হাসপাতাল চন্দ্রঘোনা CHRISTIAN HOSPITAL CHANDRAGHONA

チャンドラゴーナキリスト教病院はバングラデシュ南東部のバングラデシュ第2の都市チッタゴンからさらに東に約45km 入った農村部にある。1907年にイギリス人の宣教師によって設立された。当初は小さな診療所であったが、徐々に規模を拡大し現在は約125床の病床を有し、年間の外来患者数2万人、入院数4,500人、手術2,500件、お産は800件となっている。一般病院の他にハンセ

ン病の病院、地域保健部門、看護学校等も併設する。病院は大きなコンパウンドの中にあり、職員の大部分はコンパウンド内に住んでいる。チッタゴン県とランガマティ県をまたぐように立地し、ランガマティ県は丘陵地帯で多数のモンゴロイド系の少数民族が暮らしている。この地域で唯一24時間急患や緊急手術に対応できる医療施設である。昨年(2007年)に創立100周年を迎えた。



診療中の宮川ワーカー

みちよりの  
理世さん、理希ちゃん、宮川ワーカー



\*JOCSは、1960年に設立された保健医療協力NGOです。アジア・アフリカに医師、保健師、助産師などの保健医療従事者を派遣するとともに、その地域の保健医療従事者の研修を奨学金で支援しています。これらの活動は、会費や寄付、使用済み切手収集運動により支えられています。ぜひ会員になってJOCSの活動を支えてください。

### <社団法人 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS) >

東京事務局：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-33

Tel. 03-3208-2416 Fax. 03-3232-6922

関西事務局：〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 大阪聖パウロ教会内

Tel. 06-6359-7277 Fax. 06-6359-7278

ホームページ: <http://www.jocs.or.jp> Eメール: [info@jocs.or.jp](mailto:info@jocs.or.jp)



(宮川ワーカーの支援会「チャンドラゴーナ会」のホームページもぜひご覧下さい)

<http://chandranet.nngo.jp/>